

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日  
平成 29 年 3 月 24 日

事務事業名		在宅医療・介護連携推進事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続	継続	事務事業No.	020602000913
総合計画の施策名		0206 高齢者福祉の推進				単独/補助	補助	所属課	040501
政策名		02 安心と安らぎのある健康福祉社会づくり				主要事業	対象外		高齢福祉課
施策名		06 高齢者福祉の推進				市長マニフェスト	対象外		
基本事業名		02 高齢者福祉サービスの充実				未来PJ事業	対象外	グループ	高齢福祉
						合併建設計画事業	対象外		
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	介護保険特別会計		
06	05	02	05	00	00		単年度繰返し (平成27年度~)		
法令根拠		介護保険法				期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることが出来るよう、在宅医療・介護を担う医療関係者と介護関係者との一体的な連携とサービスが切れ目なく提供することが出来るように推進することを目的に実施しています。具体的取組として①地域の医療・介護の資源の把握②在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討③切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進④医療・介護連携に関する相談支援⑤医療・介護関係者の研修⑥地域住民への普及啓発⑦在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携を進めています。平成27年度は「土台づくり事業」として「顔の見える関係づくり」を目的に、県の補助事業にて実施しました。平成28年度は「話し合える関係づくり」として「自分も笑顔・あなたも笑顔・仲間も笑顔」をモットーに実施しました。</p>	<p>・推進協議会(年2回)にて、事業内容の検討を行う。ワーキングチームとして実行委員会(年4回)を置く。実行委員会において、多職種による研修会及び講演会を開催する。連携ツールやテキスト作成する。</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
協議会・実行委員会開催事務、実態調査委託契約事務、講演会等の開催事務、視察研修事務、研修会開催事務、連携ツール・テキスト作成事務、管内保健所連携推進会議出席、県報告出席と年間実績報告	在宅医療・介護推進協議会開催数	開催回数	3.00	2.00	2.00	3.00	0.00
	在宅医療・介護推進実行委員会開催数	開催回数	6.00	4.00	5.00	6.00	0.00
	多職種研修会開催数	開催回数	2.00	1.00	2.00	2.00	0.00
	講演会等の開催数	開催回数	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
市民	人口	人	42,444.00	42,048.00	41,652.00	41,256.00	0.00
	65歳以上の人口	人	12,757.00	12,800.00	13,000.00	13,100.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
在宅医療・介護を必要とする市民が安心して生活することが出来る。	かかりつけ医を決めている割合	%	74.50	75.00	76.00	77.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入	事業費	財源内訳	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	期間限定総投入量
量	事業費	国庫支出金	0	346	448	346	0	346
		県支出金	5,200	173	224	173	0	173
		地方債	0	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	0
		その他	0	196	253	196	0	196
		一般財源	17	173	225	173	0	173
	事業費計(A)	5,217	888	1,150	888	0	888	
人件費	正規職員従事人数	人	5.00人	5.00人	6.00人	6.00人	0.00人	
	述べ業務時間	時間	94.30	95.00	95.00	95.00	0.00	
	人件費計(B)	千円	274	276	276	276	0	
トータルコスト(A)+(B)			5,491	1,164	1,426	1,164	0	

事業費の内訳	28年度事業費 実績 (千円)				29年度事業費 予算 (千円)			
	科目	金額	科目	金額	科目	金額	科目	金額
	01 報酬	81	01 報酬	81				
	08 報償費	466	08 報償費	502				
	11 需用費	168	11 需用費	398				
	12 役務費	15	12 役務費	15				
	14 使用料及び賃借料	158	14 使用料及び賃借料	154				
	合計	888	合計	888				1,150

(4) 当該年度の実施内容

実施内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
<p>※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要事業</li> <li>・市長マニフェスト</li> <li>・未来PJ事業</li> <li>・合併建設計画事業</li> </ul>			

事務事業名	在宅医療・介護連携推進事業	事務事業No.	20602000913	所属課	高齢福祉課
-------	---------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
平成27年度の介護保険制度の改正により、包括的支援事業として開始した。	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	
医療・介護関係者より、情報の共有と連携が必要であるので今後も継続して欲しいとの意見があった。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
改革改善を行う	多くの市民に周知するために、いろいろな集会の機会を利用して啓発していく。 医師の参加を促すため、医師会に協力をいただけるように働きかけていく。
【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。	

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	医療や介護職が連携して、包括的かつ継続的に在宅医療・介護サービスが提供できる体制を構築することは、市民が安心して生活できる社会づくりにつながることから、政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	在宅生活を希望する市民が、医療や介護のサービスを円滑に受けることが出来る体制を構築する為、医療職と介護職をつなぐ場をつくり、課題を抽出して改善し、在宅医療体制の充実を図ることに、公共が関与することは妥当である。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	在宅医療・介護の連携体制が充実することで、在宅での医療や介護を希望する市民が増えると想定されるため、成果の向上余地はある。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	介護保険法に基づき、地域包括支援センターで実施しなければならない事業と定められており、廃止・休止は出来ない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	類似する事業がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	事業費は、会議開催費や人件費のため削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	市民が対象であり、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒																						
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
(3) 今後の事業の方向性				(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																				
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>X</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>X</td> <td>X</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			X	低下	
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持			X																				
	低下		X	X																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								
多くの市民に周知するために、いろいろな集会の機会を利用して啓発していく。 医師の参加を促すため、医師会に協力をいただけるように働きかけていく。																								
(6) 事務事業優先度評価結果																								
成果優先度評価結果		⑥																						
コスト削減優先度評価結果		⑧																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価	確認欄
<input type="checkbox"/> A：継続（現状維持） <input type="checkbox"/> B：継続（改革改善を行う）	<input type="checkbox"/> C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> D：2次評価へ提出